



更新された ICS 環境監査のマンデーの構造 (マンデー：監査員が1人で1日(8時間) 監査する場合の工数単位)

2021年5月3日からのすべての ICS 環境監査に適用可能になります。

この文書は、すべての工場、サプライヤー、および関連する利害関係者に、ICS 環境監査のマンデー構造に適用される重要な更新を通知します。新しい構造は色々な基準に基づいており、「工場向け ICS 環境ハンドブック」(英語版：10 ページと 11 ページ)に含まれている表に取って代わります。主な変更点は、以下の新しい構造では、労働者の数ではなく、工場の総面積が考慮されることです。他のすべての要件とガイダンスは引き続き適用可能であり、ICS のルールと手順に従って変更されていません。これは特に、評価対象の工場の規模に関係なく、フォローアップ監査の期間が 1 マンデーであることを意味します。

以下の表は、生産エリアだけでなく、すべての建物、サイト、および施設(たとえば、食堂、保管室、寮)を含む、工場エリア全体に基づいて工場のサイズを示しています。面積は平方メートル (sqm) で計算されます。

新しいマンデー構造は、5月3日以降に計画される監査に適用されることに注意してください。すでに計画され、支払われているものは、古いマンデー構造のルールに従う必要があります。

工場 サイズ	基準 (平方メートル単位の総面積)
小	<5000
中	5 000~20000
大企業	> 20000>

生産工程から発生する 廃水があるか	基準 1		基準 2	ICS 環境監査期間は? (人日数)
	施設内または施設外 で処理しているか	施設内での事前処理 は?	大規模、中規模、 または小規模の工場?	
はい	施設内 ETP	/	小	2
			中	2
			大企業	2.5
	施設外 ETP	事前処理あり、または 事前処理なし	小	1
			中	2
			大企業	2
	処理なし	/	小	1
			中	2
			大企業	2
いいえ	/	小	1	
		中	1	
		大企業	2	